

一般財団法人

Nスポーツコミッションなよろ

ビジョン（理念 目指す姿）

スポーツを通じて、人々が笑顔で輝く、持続可能で豊かな地域を創る

- ◎子どもと保護者が「やりたいことができる・夢を叶えられる」と感じられる地域
- ◎スポーツや身体を動かすことが文化となり、幸福度の高い人が増えている地域
- ◎スポーツを軸とした関係人口が増えて流入・定着し、経済的・精神的な安定や豊かさを感じられる地域

ミッション（使命・役割）

- ◎スポーツを通じて市民の身体的、精神的、社会的な健康を促進する。
- ◎生涯を通じてスポーツを楽しめる環境を整え、スポーツと共に豊かな人生を送れる人を増やす。
- ◎地域資源を活かしてスポーツの可能性を最大化し、地域経済の好循環を生み出す。
- ◎地域内外の人と人、人と社会をつなぎ新しい価値を創造する

バリュー（大切にしている価値観）

共創（Co-creation）

多様な人や組織と連携し、新たな価値を共に創流。

包摂（Inclusivity）

すべての人が平等にスポーツを楽しみ、成長できる環境を目指す。

挑戦（Challenge）

変化を恐れず、課題に向き合い、新たな可能性を切り開く。

地域愛（Local pride）

地域資源を大切にし、名寄市ならではの魅力を活かす。

行動規範

◎対話を重視する

市民やステークホルダーの声に耳を傾け、共に最適解を探る。

◎スピーディーに行動する

課題解決を迅速に進め、具体的な成果を実現する。

◎地域を巻き込む

スポーツを通じて地元企業や団体と連携し、地域全体で成長を支える。

◎継続的に学び改善する

変化に適応しながら、持続可能なまちづくりに向けて進化する。

◎責任を持ってリードする

スポーツを通じた街づくりの旗手として、社会的使命を果たす。

組織図

会 員

団体・ジュニア・個人会員は代表者などが以下の会議のどれか（また複数）に参加する

代表者会議

スポーツ団体担当者会議

ジュニア育成会議

指導者会議

地域づくり会議

意思決定・統治機関

評議員会

監事

理事会

事務局

実務・運営



会 員

区 分	内 容
一般団体会員	年会費3,000円／団体 競技団体、スポーツ愛好者団体、企業・団体
ジュニア団体会員	年会費 R 7 年度は会費を徴収しない ※日本スポーツ少年団に登録する場合は、少年団登録費用は別途負担 少年団、ジュニクラブ（競技団体傘下）、ジュニアクラブ（上部団体なし）
個人会員	年会費2,000円／人 スポーツ愛好者、スポーツインストラクター、スポーツによる地域活動に興味がある方
賛助会員	年会費（寄付） 企業団体 1 口5,000円、個人 1 口2,000円 本会の活動趣旨に賛同していただける方

会員区分

区分	内 容
一般団体 会員	年会費 3, 0 0 0 円／団体 競技団体、スポーツ愛好者団体、企業・団体（Nスポ会員他） ※既存加盟競技団体は無条件で加盟可能 年会費3,000円 ※新規団体は条件あり（名寄市民、又は名寄市内に通勤・通学している10名以上で構成されその半数が名寄市民）
ジュニア 団体会員	年会費 選手 指導者 少年団、ジュニクラブ（競技団体傘下）、ジュニアクラブ（上部団体なし） ※ジュニア 登録年の4月1日現在、満3歳以上の者 ※指導者 登録年の4月1日現在、満18歳以上の者 ※既存加盟競技団体は無条件で加盟可能 ※新規団体は条件あり（名寄市民、又は名寄市内に通勤・通学している10名以上で構成されその半数が名寄市民）
個人会員	年会費 2, 0 0 0 円／人 スポーツ愛好者、スポーツインストラクター、スポーツによる地域活動に興味がある方
賛助会員	年会費（寄付） 企業団体 1 口5,000円、個人 1 口2,000円 本会の活動趣旨に賛同していただける方

会員（加盟）について

1. 名寄市スポーツ協会、風連町スポーツ協会、Nスポーツコミッションの加盟団体は、新組織に継続して加盟になります。
2. 競技団体の補助金等は予算内で、当面、これまでと同じ方法で補助されます。
 - (1) 名寄市スポーツ協会加盟団体（R6年度加盟団体）
 - ①市民大会開催助成 年1回@25,000円
 - ②教室・講習会開催助成 年1回@5,000円
 - ③全国・国際大会規模大会参加奨励金 補助額は要協議
 - (2) 風連町スポーツ協会加盟団体（R6年度加盟団体）
 - ①風連地区加盟団体活動助成金 1団体@30,000円
 - ②風連地区大会開催等補助金 大会開催費用の1/2以内で上限50,000円以内
 - ③上記②補助金（市外全道大会補助） 上限50,000円以内
3. Nスポーツコミッションが実施している「北海道ジュニアスポーツエコシステム形成事業」は、新組織に引き継がれ継続して事業を実施します。
4. R7年度は新規会員（一般団体・ジュニア団体会員）の募集は行いません。

組織図（詳細）

意見集約・提言機関

意思決定・統治機関

会 員

団体・ジュニア・個人会員は代表者などが以下の会議のどれか（また複数）に参加する

代表者会議

スポーツ団体会議

ジュニア育成会議

指導者会議

地域づくり会議

各会議の代表者が専門委員会へ出席し意見を伝える

－専門委員会－
(会員で組織される)

総務委員会

競技力向上委員会

健康づくり委員会

地域づくり委員会

専門委員会が理事会に提言する

評議員会
(9名)

監事
(2名)

理事会
(9名)

<任 期>
・評議員 4年
・理 事 2年
・監 事 2年

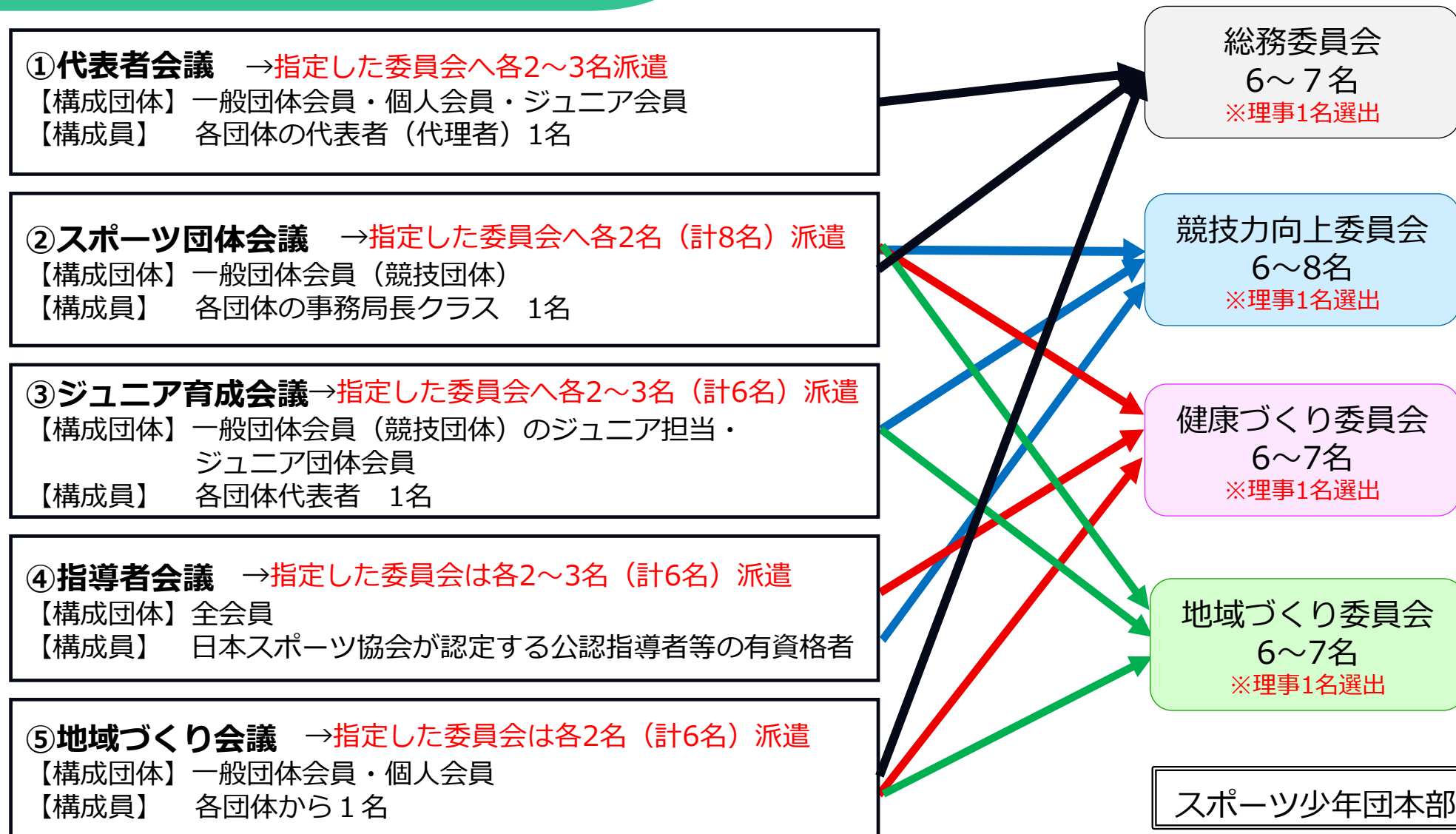
事務局

実務・運営

5つの「会議」と、4つの「専門委員会」について

区分	内 容
会議 (任期：2年)	<p>各団体や個人の特性に合わせて、1つ以上の「会議」に参加（参加会議については名簿を参照）。</p> <p><u>NSCなよろの決定事項を伝達する情報共有の役割と、みなさんの意見を受け止める情報収集の役割</u>を持つ。この会議の総意として意見をまとめ上げたり、なにかを決定はしない。</p> <p>集まった意見は、該当する専門委員会にそのまま伝達する。</p>
専門委員会 (任期：2年)	<p><u>上記の会議から代表者を選び、専門委員会へ派遣</u>する。</p> <p>専門委員会は各会議体の声を集約しながらも、全ての会員や、地域、団体に資するように、<u>全体最適を考えながら企画・事業を実行していく</u>。</p> <p>理事会（事務局）で決定した今年度の事業の内容や方向性をもとに、現場感覚を持ちながら事業設計していく。</p>

各会議体→専門委員会の選定について



各種会議①

区分	役 割
代表者会議	<p>当コミッションの中長期計画や運営方針について幅広い意見を交換します。組織の透明性を確保し、会員間の連携を促進することで、多様な知見をコミッション活動を反映させる中核的な役割を担います。</p> <p>(1) コミッションの中長期計画や主要な運営方針について、広範な意見集約と組織運営への提言を行います。</p> <p>(2) 事業計画・報告・意見交換等を通じて、組織の透明性を確保し、会員間の理解を深めます。</p> <p>(3) 会員間の連携促進とネットワーキングの機会を提供し、地域課題の共有と解決策の検討を行います。</p> <p>■構成 一般団体会員及び個人会員で構成する会議 各団体1名程度</p> <p>■会議 年1回程度</p>
スポーツ団体会議	<p>地域スポーツの振興を実務的な側面から推進する会議です。各競技団体の具体的な課題やニーズを吸い上げます。市民の健康増進、生涯スポーツの普及、地域資源を活かした経済活性化など、競技団体ならではの視点から事業計画への協力や評価を行います。団体間の情報共有と連携を密にし、地域スポーツの質の向上に貢献します。</p> <p>(1) 各競技団体のニーズと課題を吸い上げ、事業計画・実施への協力と評価を行います。また</p> <p>(2) 市民の身体的・精神的・社会的な健康促進、生涯スポーツ環境の整備、地域資源の活用と地域経済の好循環創出に貢献します。</p> <p>(3) 会員間の連携強化と新しい価値の創造、補助金等の情報共有と適正な活用を協議します。</p> <p>(4) 事業報告・計画・意見交換（年2回程度）を行います。</p> <p>■構成 一般団体会員（競技団体のみ）の事務局長クラスで構成する会議 各団体1名程度</p> <p>■会議 年2回程度</p>

各種会議②

区分	役 割
ジュニア育成会議	<p>次世代を担う子どもたちのスポーツ環境を整備・向上させるための専門会議です。スポーツ少年団やジュニアクラブチームの育成環境に関する協議を深めます。子どもたちが「スポーツで夢を叶えられる」地域を目指し、スポーツ医科学やインテグリティ教育の推進にも寄与します。現場の声をコミッション活動に反映させる重要な役割を担います。</p> <p>(1) 「スポーツで夢を叶えられる」地域づくり、及び少年団、ジュニクラブ等のジュニア世代の育成環境整備と向上に関すること</p> <p>(2) スポーツ医科学・インテグリティ教育の推進に関すること。また、指導者会会議との連携を図る。</p> <p>(3) 中学校部活動地域移行に関して、地域づくり会議と連携を図ること。</p> <p>■構成 一般団体会員ジュニア育成担当者一及びジュニア団体会員（少年団・ジュニクラブ）の指導者（代表者会議と別の方が望ましい）で構成する会議 各団体1名程度</p> <p>■会議 年2回程度</p>
指導者会議	<p>スポーツ指導の質の向上と、専門的な知見の共有を目的とした会議です。安全で効果的な指導法の普及、最新のスポーツ科学情報共有を行います。地域全体のスポーツ指導のレベルアップを図る中核的な役割を担うとともに、グットコーチに求められる資質能力（思考・態度・行動・知識・技能）の向上を図り、グットプレーヤーのさらなる育成を目指します。</p> <p>(1) 指導者の資質向上に関すること</p> <p>■構成 会員（団体に所属している方を含む）で、日本スポーツ協会（JSPO）公認指導者資格の有資格者（別紙：日本スポーツ協会（JSPO）公認スポーツ指導者資格の種類）、及び中央競技団体が認定しているJSPO公認指導者資格と同等の有資格者</p> <p>■会議 年2回程度</p>
地域づくり会議	<p>スポーツを通じた地域活性化を、多様な視点から具体的に推進する会議です。地域連携、イベント企画、地域資源の活用、スポーツ合宿・交流・ツーリズムの推進などを協議します。中学部活動の地域移行への支援も視野に入れ、地域住民が主体的に関わるスポーツ活動を創出し、スポーツによる地域づくり実現するために、幅広い関係者と連携し事業を推進します。</p> <p>■構成 一般会員、及び個人会員 各団体からは1～2名程度</p> <p>■会議 年2回程度</p>

※指導者会議への登録に必要な資格一覧

資 格	種 類
スポーツ指導者基礎資格	スポーツコーチングリーダー スポーツリーダー
競技別指導者資格	スタートコーチ コーチ 1～コーチ 4 教師 上級教師
メディカルコンディショニング資格	スポーツドクター スポーツデンティスト アスレティックトレーナー スポーツ栄養士
フィットネス資格	フィットネストレーナー スポーツプログラマー ジュニアスポーツ指導員 スタートコーチ（ジュニア・ユース）
マネジメント指導者資格	アシスタントマネージャー クラブマネージャー

※JSPO公認資格と同等と認められている競技団体公認の指導者資格の取得者も該当します。

専門委員会の役割

総務委員会

役員・評議会・理事会の運営
財務・規約・会員に関すること
各調査・広報・情報管理

競技力向上委員会

選手の強化・競技力向上
ジュニア育成に関すること
指導者に関すること

健康づくり委員会

スポーツによる健康づくり
障がい者スポーツに関すること
スポーツ・運動の普及

地域づくり委員会

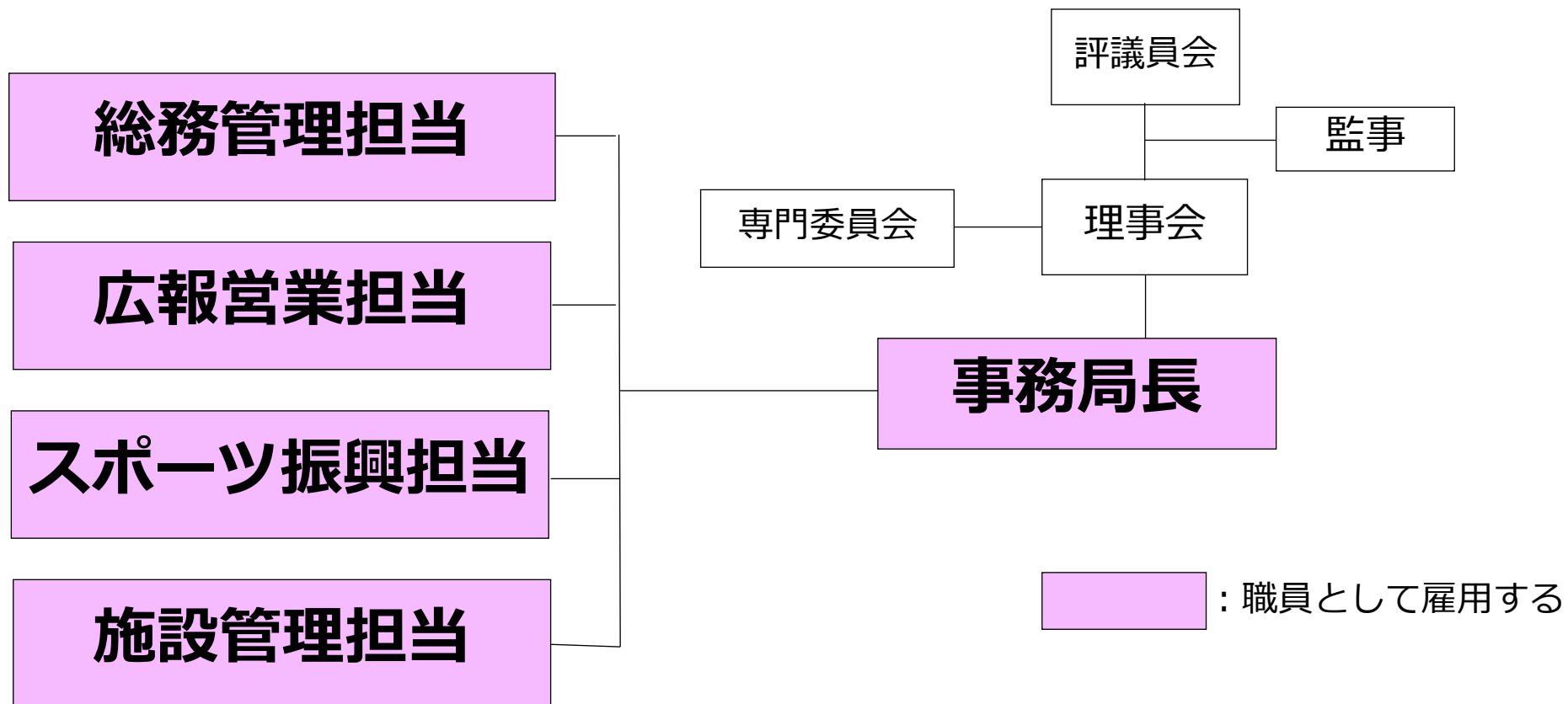
地域連携・各種イベント
地域資源の活用
スポーツ合宿・交流・ツーリズム

専門委員会①

区分	役 割
総務委員会	<p>組織全体の基盤を支える委員会。役員会・理事会等との連携、財務管理、規約の策定と運用、会員情報の管理、広報活動の推進、事務局の円滑な運営を統括します。透明性の高い組織運営と、コミッションのビジョン達成に向けた環境整備を使命とし、各会議からの意見を組織全体に反映させる役割を担います。</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 組織の持続的かつ健全な運営体制構築に関すること。(2) 財務、規約、会員管理、広報、情報管理など、コミッション全体の基盤強化に関すること。(3) 理事会・評議会・各種会議との連携強化、および透明性の確保に関すること。特に各会議からの提言や要望を受け、組織運営上の課題を解決し、事業推進のために私的な環境を整備します。(4) 組織の行動規範を浸透させ、効率的かつ戦略的な事務局運営を推進すること。また、コミッション全体の広報・ブランディング戦略を策定し、対外的な情報発信を統括する役割も担います。(4) 規約その他諸規定に関すること(5) 会員に関すること。会員からの意見や要望を吸い上げ、組織運営および各事業計画に反映させるための調整を行います。(6) スポーツ表彰に関すること <p>■ 構成 6～7名（代表者会議、スポーツ団体会議、地域づくり会議）</p>
競技力向上委員会	<p>競技力の底上げと選手の育成を専門的に担います。スポーツ医科学に基づく指導、インテグリティ教育の推進、指導者間の連携強化を通じて、安全かつ効果的な競技環境を整備します。特にジュニア世代の育成を重視し、地域全体のスポーツレベル向上と将来のトップアスリート輩出を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 競技力向上と次世代選手の育成戦略に関すること。各種会議（特にスポーツ団体会議、ジュニア育成会議、指導者会）からの意見や課題を具体化し、実践的な強化プログラムや育成事業を企画・実施します。(2) スポーツ医科学、インテグリティ教育の普及に関すること(3) 指導者の専門性向上と指導環境の整備に関すること(4) 地域特性を活かした競技力向上プログラム開発とトップアスリート輩出に向けた支援体制構築に関すること。また、具体的な競技大会の誘致・開催支援、および地域内の競技施設・環境の整備に関する提言を行います。 <p>■ 構成 6～8名（スポーツ団体会議、ジュニア育成会議、指導者会会議、少年団）</p>

専門委員会②

区分	役 割
健康づくり委員会	<p>市民の健康増進とスポーツ・運動の普及を目的とします。年齢や障がいの有無に関わらず、誰もが気軽に運動を楽しめる機会を創出します。健康プログラムの企画・実施、障がい者スポーツの推進、運動習慣の定着に向けた啓発活動を行います。スポーツを通じて、地域住民の身体的・精神的・社会的な健康を総合的に支援します。</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 市民の身体的・精神的・社会的な健康増進と生涯スポーツ・運動習慣に関すること(2) インクルーシブなスポーツ・運動推進に関すること(3) 健康増進に資する多様なプログラムの企画・実施と市民のQOL向上への貢献に関すること。各種会議（特にスポーツ団体会議、指導者会、地域づくり会議、代表者会議）からの意見を基に、地域の実情に合わせた健康プログラムを具体的に企画・実行します。(4) 運動習慣の定着に向けた継続的な支援策や、健康寿命延伸に繋がる啓発活動を計画し、実施します。また、大学や医療・福祉機関との連携を推進し、より専門的な視点を取り入れた健康支援を行います。 <p>■構成 6～7名（スポーツ団体会議、指導者会、地域づくり会議、代表者会議（個人会員））</p>
地域づくり委員会	<p>スポーツを核とした地域活性化を推進します。地域資源を活用したイベント開催、合宿誘致、スポーツツーリズムの推進を通じて、交流人口の拡大と地域経済の活性化に貢献します。また、中学部活動の地域移行や、地域住民が主体的に関わるスポーツ活動の創出を支援し、持続可能で活気ある地域社会の実現を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none">(1) スポーツを核とした地域コミュニティの活性化と地域経済の好循環創出に関すること(2) 地域内外の多様なステークホルダーとの連携強化に関すること。特に、地域づくり会議からの情報やアイデアを基に、具体的な地域活性化事業を立案・実施し、関係機関との調整を行います。(3) スポーツイベントの誘致・開催、合宿・交流事業、スポーツツーリズムの推進に関すること。(4) 中学部活動の地域移行支援、および地域資源を最大限に活用した新たなスポーツ文化・価値の創造に関すること。これに関連し、具体的な地域移行計画の策定支援や、地域住民が主体的に関わるスポーツ活動のモデル事業を企画・推進します。 <p>■構成 6～7名（地域づくり会議 代表者会議 スポーツ団体会議 ジュニ育成会議</p>



124,998千円

統合前（R7予算見込みベース）

風連町スポ協
1,760千円

少年団補助金
組織運営補助金

名寄市スポ協
98,906千円

指定管理費
ジュニア競技力強化補助金
組織運営補助金

Nスポ
24,332千円

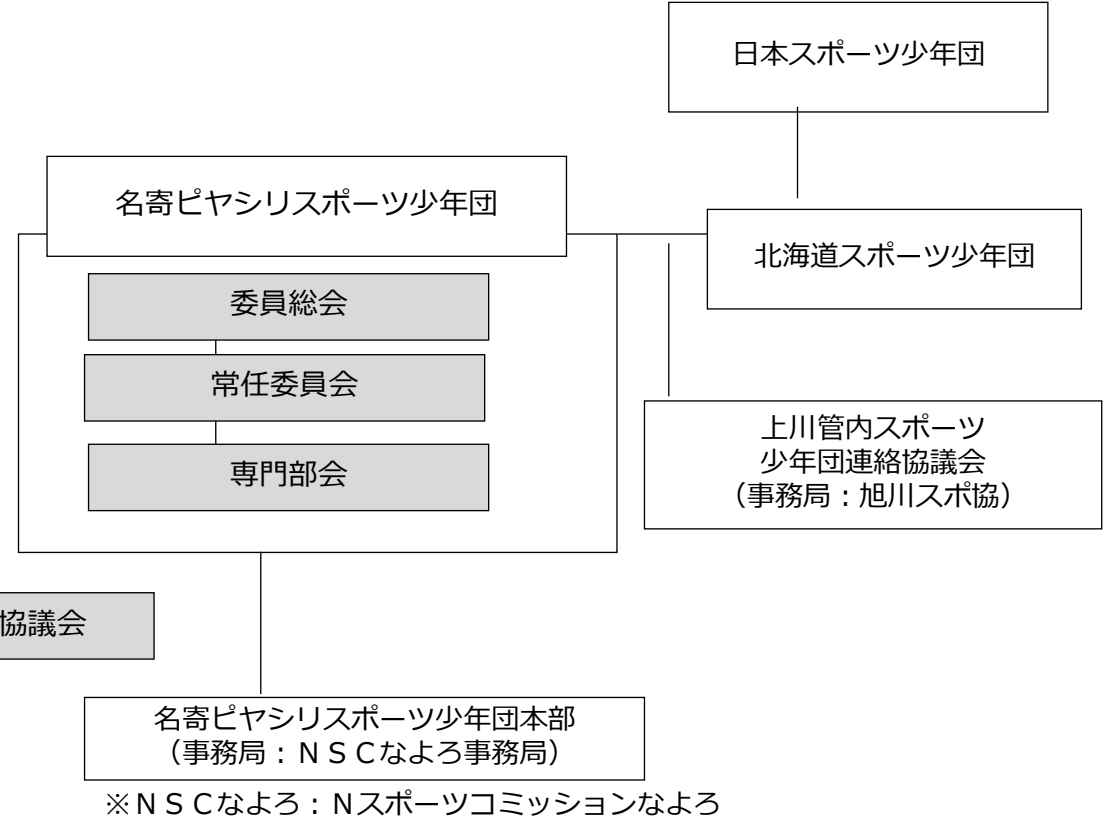
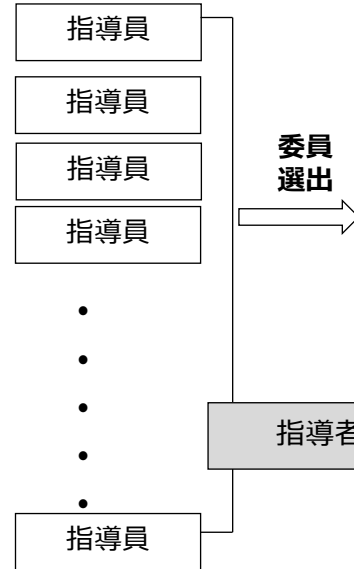
育成・健康づくり等負担金
経済活性・まちづくり負担金
組織運営負担金

名寄ピヤシリスポーツ少年団本部構成図

(単位少年団)

1	風連町スポーツ少年団連絡協議会	風連町卓球少年団
2		風連町剣道少年団
3		風連町ウイング（バレーボール）
4		風連町トランポリン少年団
5		名寄ピヤシリ剣道少年団
6		名寄ピヤシリ南ジュニアバレーボール少年団
7		名寄ピヤシリサッカー少年団
8		名寄ピヤシリ少林寺拳法少年団
9		名寄ピヤシリ卓球少年団
10		名寄ピヤシリ柔道少年団
11		名寄ピヤシリ東バレーボール少年団
12		名寄ピヤシリ水泳少年団
13		名寄ピヤシリソフトテニス少年団
14		名寄ピヤシリアルペンスキー少年団
15		名寄ピヤシリクロスカントリー少年団
16		名寄ピヤシリ南クラブ野球少年団
17		名寄ピヤシリミニバスケットボール少年団
18		名寄ピヤシリ銃剣道少年団
19		名寄ピヤシリ西クラブバレー少年団
20		名寄ピヤシリ北翔野球少年団
21		名寄ピヤシリ男子バレーボール少年団

(各少年団指導員)



スポーツ少年団登録等について

1. 名寄ピヤシリスポーツ少年団本部は名寄スポーツ協会事務局からNスポーツコミッションなよろ事務局に引き継がれます。
2. 名寄・風連地区の少年団登録業務、及びスポーツ少年団業務は新組織に引き継がれます。
3. スポーツ少年団は、新組織の「ジュニア団体会員」に位置付けられますが、R7年度は会費を徴収しません。R8年度以降の会費については新組織（専門委員会・ジュニア育成協議会等）で協議します。また、R7年度は新規のジュニア団体会員の募集は行わず、R8年度以降の募集は会費同様に新組織で協議します。
4. 日本スポーツ少年団登録料は、これまでと同様に団員一人@600円/年、指導者一人@1,200円/年となります。
5. スポーツ少年団（R6年度登録団体）の補助金は、当面のこれまでと同様に団員一人@1,200円、指導者一人@1,200円が補助されます。名寄地区のスポーツ少年団で上記4の少年団登録しない場合でも本補助を受けられます。
6. 旧Nスポーツコミッションが実施している「北海道ジュニアスポーツエコシステム形成事業」は、新組織に引き継がれ継続して事業を実施します。
7. 上川管内スポーツ少年団等の上部団体にも引き続き加盟し、各種事業に参加していきます。
8. スポーツ少年団に関する事項は、新組織の「ジュニア育成協議会」が所管し、少年団とジュニアを対象としたクラブチーム（団体）の育成環境について協議していきます。よって、名寄ピヤシリスポーツ少年団は形式的に組織しますが、「委員総会」「常任委員会」「専門部会」「指導者会」は運用しません。